

MITSUBISHI

三菱 深夜電力用 電気温水器

ダイヤホット 取扱説明書

深夜電力(8時間)用
通電制御型

このたびは、三菱電気温水器(ダイヤホット)をお買
上げいただきまして誠にありがとうございました。

マイコン
ダイヤホット

8H
通電制御型
8時間通電

認定品

屋内軒下兼用タイプ

- ・リモコンレス
- ・100V電源不要

形名

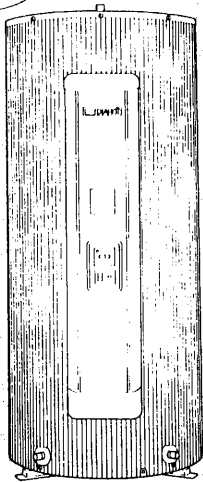
- SRG-3744-BL
- SRG-4644-BL
- SRG-5544-BL
- SRG-3044M-BL
- SRG-3744M-BL
- SRG-4644M-BL

防雨タイプ

形名

- SRG-3754-BL
- SRG-4654-BL
- SRG-5554-BL

M・ドレンパン
エルボセット付き



(この図は屋内軒下兼用タイプです)

この電気温水器は、申
請によって通電制御型
として料金割引きが適
用されます。
ご不明の場合は、必ず
据付け工事店(販売店)
または最寄りの電力会
社にご相談ください。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要などきお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名(販売店名)」などの記入を確かめて、据付け工事店(販売店)からお受け取りください。
- 添付別紙の「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

もくじ

安全のために ページ
必ずお守りください……………1～2

各部のなまえとはたらき…3～4

- 本体
- 本体周辺部

ご使用方法……………5～8

- 使用前の準備と給湯
- お湯の上手な使い方
- 操作部のなまえ
- 湯温設定

凍結防止について……………9～11

- 暖かい地域でご使用の
お客さまも必ずお読みください
- 凍結防止ヒーターによる方法
- 水抜きによる方法
- 少量の水を流し続ける方法

長期間使用しないときには……………12

- 1カ月以上のとき(タンク内の水抜きをします。)
- 1カ月以内のとき(電源を切ります。)

お手入れと定期点検のお願い……………13～14

- 配管の点検
- タンクのお手入れ
- 漏電遮断器の点検
- 逃し弁の点検
- 水漏れの点検
- 定期点検のお願い(有料)

修理を依頼する前に……………15～16

- こんなときは故障ではありません
- 故障かなと思ったら

仕様……………17

保証とアフターサービス……………18

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。

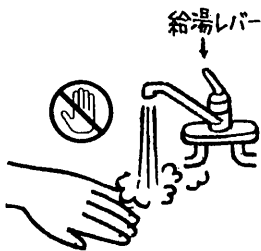
●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

試運転は、据付け工事店の立会いのもとで行ってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

警告

やけどに注意

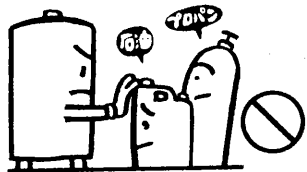
- 給湯時は、湯水混合栓に手を触れないでください。
- 排水時は、お湯に手を触れないでください。
- 逃し弁点検時は、逃し弁排水管に手を触れないでください。



給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯が出ます。特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が出る場合があります。

使用する水栓は、湯水混合栓をお勧めします。また浴室ではサーモスタット付混合栓等をお勧めします。

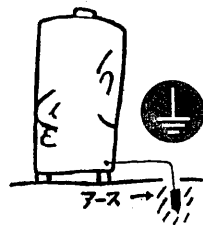
近くにガス類や引火物を置かない



置くと、発火・火災になることがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取付けは据付け工事店が三菱電機サービスセンターまたは三菱電機お客さま相談窓口へお問合わせください。



修理技術者以外の人は分解・修理・改造をしない

不備があると、発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



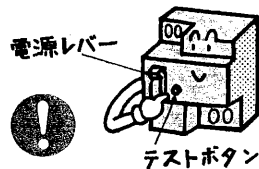
前面カバーを開けない (3ページ)

開けると、感電することがあります。



漏電遮断器の動作を確認する (13ページ)

故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。



注意

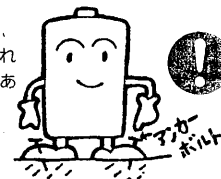
飲用はしない



水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわすことがあります。

脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。



床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな被害につながる恐れがあります。



凍結防止対策の確認をする (9ページ)

凍結すると、配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。



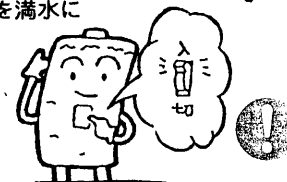
タンクの熱湯を直接排水しない



排水すると、やけどや排水管などを破損することがあります。

通電はタンクを満水にしてから行う

「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。



1カ月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの排水をする (12ページ)

排水しないと、水質が変化することがあります。

12ページ

逃し弁の点検をする (14ページ)

点検しないと、タンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



操作カバーは閉じる (3ページ)

開けておくと、漏電や感電することがあります。



各部のなまえ とはたらき

本体

BL認定の範囲は本体、逃し弁です。配管、部材は含まれていません。

形名はここに書いてあります。

給湯口

本体からのお湯の出口です。

沸き上げ中ランプ

ヒーターに通電しているときに点灯します。

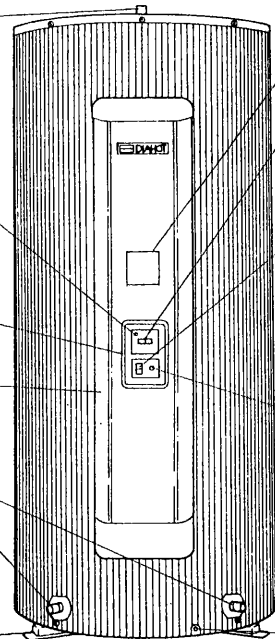
操作カバー

前面カバー

給排水口

左右にあり、給水用と排水用に使い分けられます。

脚



湯温設定スイッチ

沸き上げ湯温を設定するスイッチです。

漏電遮断器電源レバー

このレバーで電源を「入」「切」します。使用中は常に「入」にしておきます。

漏電遮断器テストボタン

万一漏電したときに動作するかをテストするボタンです。

アース端子

本体を「接地」するためのアース線端子です。

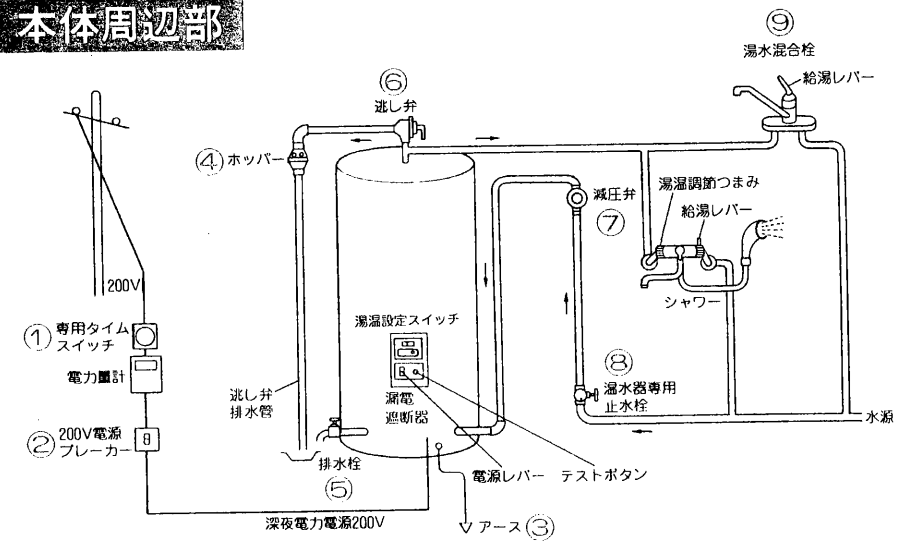
ドレンパン・エルボセット付きの場合

適用形名
SRG-3044M-BL
SRG-3744M-BL
SRG-4644M-BL

ドレンホース

万一の水漏れの場合にここから排水します。

本体周辺部



①専用タイムスイッチ
深夜電力電源(200V)の供給を自動的に「入」「切」する。

②200V電源ブレーカー
200V電源の「入」「切」をする。

③アース
万一の感電を防ぐ。

④ホッパー
排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排出できるようにする。また、タンク排水時に逃し弁からの空気取入れ口にもなる。

⑤排水栓
タンク内の水を排水するときに操作する。

⑥逃し弁
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にする。

⑦減圧弁
タンク内の給水圧力を一定にする。

⑧温水器専用止水栓
タンク内への「給水」「止水」に使う。

⑨湯水混合水栓
お湯を取り出す。

ご使用方法

使用前の準備と給湯

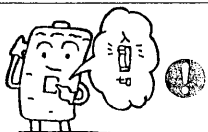
使いはじめや水を抜いたときは次の手順で操作してください。(①～⑦は右図と対応しています。)

給湯

- ①湯水混合栓やシャワーの湯温調節を「高」側にして給湯レバーを開く。
 - ②温水器専用止水栓を開く。
 - ③湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら給湯レバーを閉じる。
- 空の状態から満水までは約30分～40分かかりますが、タンク容量や配管によって多少変わります。

注意

通電はタンクを満水にしてから行ってください。「空焼き」の場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。



運転

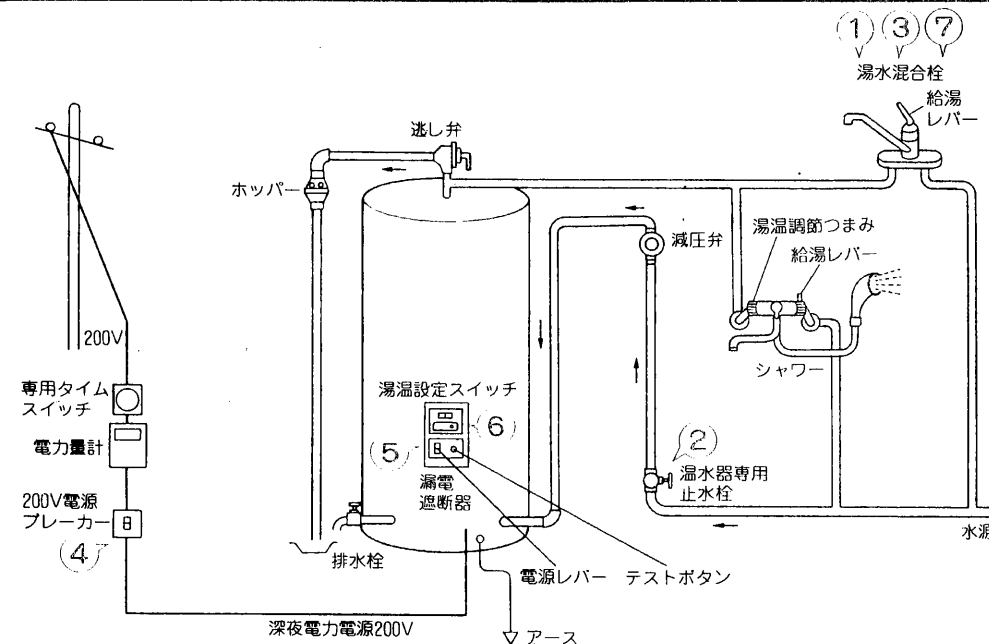
- ④深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
- ⑤漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
- ⑥湯温設定をする。(8 ページ)

- 【お知らせ】 ● 深夜電力は専用タイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます。
● 給湯は翌朝から使用できます。

給湯

- ⑦湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。

- 【お知らせ】 給湯すると温水器に自動的に給水されます。



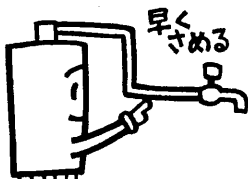
お湯の上手な使い方

特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

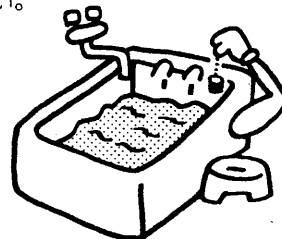
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使いましょう。



- 配管内のお湯は早くさめます。シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

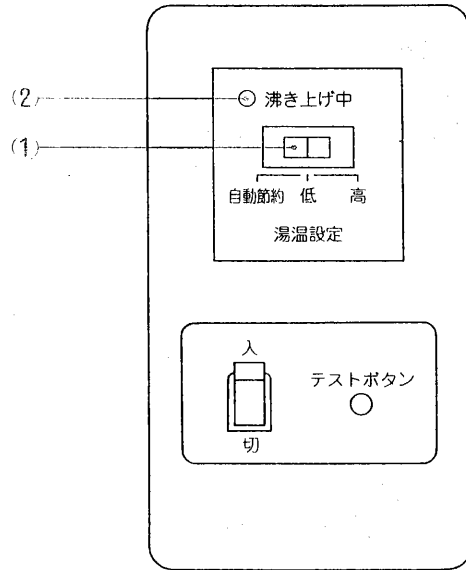


- 入浴は、できるだけ深夜電力時間帯（沸き上げ中ランプの点灯中）を避けて連続して行うようにしてください。点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなる可能性があります。



ご使用方法

操作部のなまえ



①湯温設定スイッチ(スライド式)

沸き上げ湯温の設定に使用

自動節約	約60℃～約90℃
低	約55℃
高	約90℃

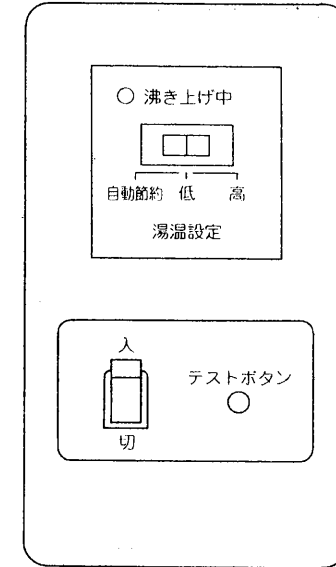
②沸き上げ中ランプ

点灯	沸き上げ中を示す。
点滅	沸き上げ湯温が変動しますので据付け工事店にご連絡ください。

湯温設定

自動節約運転……この設定は手間がかからず便利です。
 マニュアル運転……ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせてご使用ください。

●沸き上げ中に停電が発生し、復帰した場合はただちにヒーターに通電します。



お知らせ

スイッチは左右に軽くスライドさせてください。

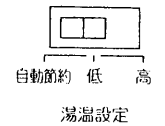
上手な使い方

- 自動節約運転の場合、毎日の使用湯量がほぼ一定しているときにご使用ください。維持費の節約ができます。
- 来客などで使用湯量が急増するときや熱いお湯が必要なときはまえもってマニュアル運転で湯温設定を「高」に切換えてください。

自動節約運転

- 過去の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測し、約60℃～約90℃の範囲で沸き上げます。

「自動節約」側にする



自動節約運転を解除するときは「低」、「高」のいずれかの位置にします。(マニュアル運転になります。)

マニュアル運転

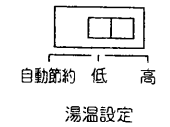
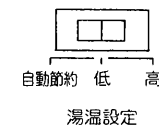
- 湯温設定スイッチにより約55℃と約90℃の沸き上げができます。

約55℃にするとき

約90℃にするとき

「低」の位置にする

「高」側にする



- 給水水温10℃以下残湯量20L未満(タンク容量550Lの製品は60L未満)の場合は90℃まで沸き上がりません。

沸き上げ湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。また、湯温は2～3℃ばらつくことがあります。

凍結防止について

暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください

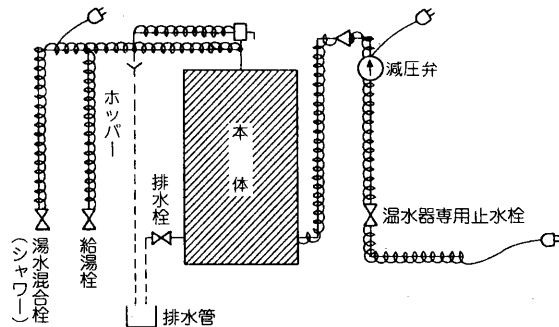
冬期は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「水抜きによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。

どの方法が施工されたのかご付合せの据付け工事店に確認し、その方法によって実施してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- ⓞ 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- ⓞ 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- ⓞ 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。



水抜きによる方法

配管内の水を抜く方法です。

操作手順

- ① 温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じます。
- ② ストップバルブ(※1)を閉じ、空気取入用バルブ(※2)を開き、水抜き栓(※3、※4)を開きます。
- ③ 減圧弁の水抜き栓を開き、押上棒を押します。(詳しくは減圧弁に付いている説明板を参照してください。)

- ④ 逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開きます。

- ⑤ 排水栓を開き、15～20L程度(約2分間)排水後閉じます。

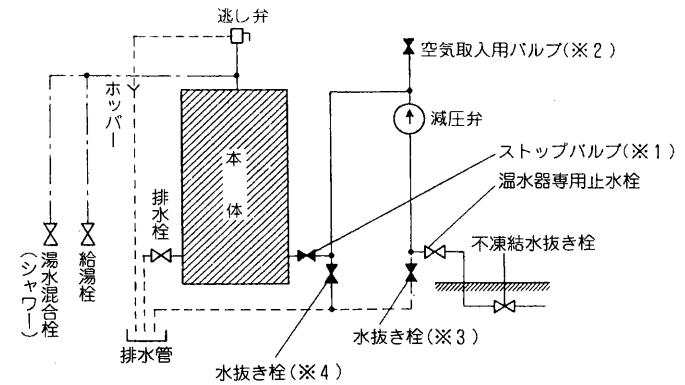
〈翌朝使用するとき〉

- ① 逃し弁のレバーを下げ、湯水混合栓、給湯栓を閉じます。

- ② 減圧弁の水抜き栓を閉じます。

- ③ 空気取入用バルブ(※2)と水抜き栓(※3、※4)を閉じます。

- ④ 不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓を開き、ストップバルブ(※1)を開きます。



凍結防止について

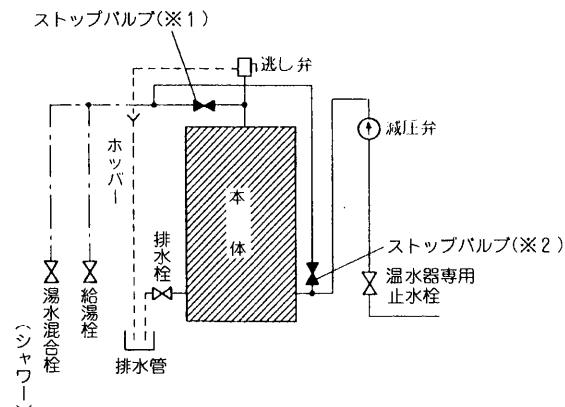
少量の水を流し続ける方法

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。

- ① ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開きます。
- ② 各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態に水を流します。

(翌朝使用するとき)

- ① 各給湯栓、湯水混合栓を閉じます。
- ② ストップバルブ(※2)を閉じ、ストップバルブ(※1)を開きます。



減圧弁・逃し弁の指定 [(社)日本水道協会統一注意表示]

*この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令(昭和57.4.20政令第124号)及び日本工業規格(JIS)により、水頭10m以下(1kgf/cm²以下)で使用することが義務付けられているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい。

(1) 水道に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもので、かつ、当該水道事業者が承認するものを使用して下さい。

① (社)日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁又は、

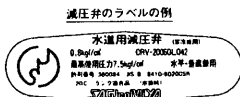
② JISマークが表示されている水道用減圧弁及び温水器用逃し弁

(2) 水道に直結する場合は、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付けられている地域では、必ず次の表示を確認の上、使用して下さい。

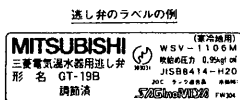
① (社)日本水道協会の「型式登録品」で、かつ、その検査合格証のあるものの場合減圧弁・逃し弁ともに、(社)日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。



(2) JISマーク表示品の場合
水道用減圧弁は、設定圧力0.8kgf/cm²とJISマーク及び「寒冷地用」の表示がある。



温水器用逃し弁は、吹始め圧力0.95kgf/cm²とJISマークの表示がある

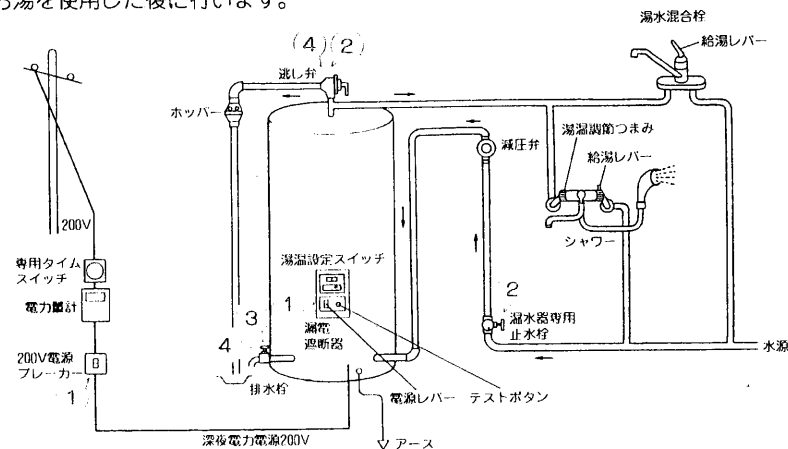


長期間使用しないときは

1ヵ月以上するとき (タンク内の水抜きをします。)

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。



- ① 深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
 - ② 温水器専用止水栓を閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。
 - ③ 排水栓を開きます。(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。)
 - ④ 排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じます。
- ★再びご使用になるときは使用前の準備と給湯(5ページ)に従ってください。

1ヵ月以内のとき (電源を切ります。)

1ヵ月以内でも冬期凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますのでタンク内の水抜きをしてください。

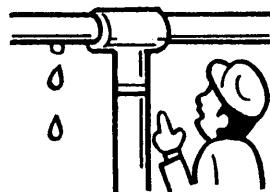
- ① 漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
- ② 温水器専用止水栓を閉じます。

★再びご使用になるときは逆の順序(②、①)で行ってください。

お手入れと定期点検のお願い

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか、特に冬期に入る前にチェックし、異常のある場合は据付け工事店に修理依頼してください。



タンクのお手入れ(1~2カ月に1度)

- ① 排水栓を1~2分間開き排水します。
- ② 排水がきれいになったら排水栓を確実に閉めます。(排水がきれいにならなかつたら数回繰り返してください。)

警告

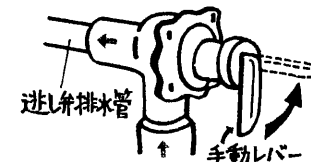
排水時は、熱湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

逃し弁の点検(1カ月に1度)

- ① 沸き上げ中ランプが消灯中に逃し弁からお湯が出ていないかを確認します。
- ② お湯が出ているときには、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

警告

逃し弁排水管に手を触れないでください。やけどをすることがあります。

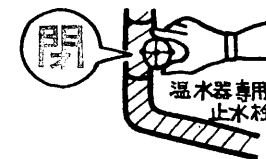


水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

注意

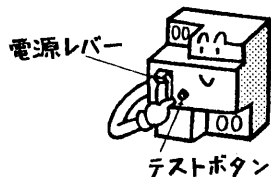
マンションなど、中・高層住宅では、水漏れが起きた場合、下層階へ被害を及ぼす恐れがあります。



漏電遮断器の点検(1カ月に1度)

漏電遮断器の点検は深夜電力時間帯に行ってください。

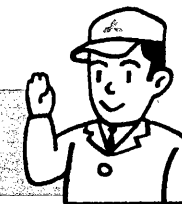
- ① テストボタンを押します。
「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
電源レバーが「切」にならないときは200V電源レバーを「切」にして据付け工事店にご連絡ください。
- ② 電源レバーを「入」にもどします。



警告

漏電遮断器の動作を確認してください。故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

定期点検のお願い(有料)



- 電気温水器を少しでも長くご満足して使用していただくために、3~4年ごとに定期点検(有料)を行ってください。
- 減圧弁、逃し弁などは消耗部品(目安として3~4年)です。劣化している場合は早めに交換してください。
- 定期点検については、据付け工事店または三菱電機サービスセンターへご相談ください。

修理を依頼する前に

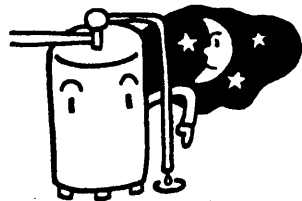
こんなときは故障ではありません。

お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、沸き上げ中（沸き上げ中ランプが点灯中）に水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から出ます。



ヒーターにすぐ通電されない

給水水温が高い場合や、湯温設定が低い場合は、マイコンの働きにより、深夜電力が供給されてもヒーターにすぐ通電されないことがあります。



設定湯温まで沸き上がらない

深夜電力供給中に湯温設定を「高」にしたり、沸き上げ中ランプが点灯中にお湯を使用すると設定湯温まで沸き上がらないことがあります。

〔給水水温10℃以下、残湯量20L未満（タンク容量550Lの製品は60L未満）の場合は90℃まで沸き上がりません。〕

故障かなと思ったら

“故障かな？”と思ったときは、まず次の点を調べてください。

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 断水していませんか 温水器専用止水栓は開いていますか。 配管部分が凍結していませんか。 	断水が終わるまで待ってください。 閉じていれば開いてください。 とけるまで待ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> 200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。 湯温設定は適切ですか。 	「入」にしてください。 「高」に切換えてください。（8ページ）
お湯が沸かない 足りない	<ul style="list-style-type: none"> 逃し弁の排水口から昼間、お湯が水が出ていませんか。 沸き上げ中ランプが点灯中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。 	逃し弁を点検してください。（14ページ） 逃し弁を点検してもなおらない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。 翌日までお待ちください。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客様相談窓口」へご相談ください。

仕様

形名	SRG-3044M-BL	SRG-3744-BL	SRG-3744M-BL	SRG-3754-BL	SRG-4644-BL	SRG-4644M-BL	SRG-4654-BL	SRG-5544-BL	SRG-5554-BL	
設置場所	屋内軒下兼用			屋内外兼用	屋内軒下兼用		屋内外兼用	屋内軒下兼用	屋内外兼用	
タンク容量	0.3m ³ (300L)	0.37m ³ (370L)			0.46m ³ (460L)		0.55m ³ (550L)			
定格発熱体	単相200V 3.4kW	単相200V 4.4kW			単相200V 5.4kW		単相200V 6.0kW			
格制御用	単相200V・約3W									
沸き上げ湯温	約55℃～約90℃									
本体寸法	高さ1559mm ×φ660mm	高さ1673mm ×φ660mm	高さ1783mm ×φ660mm	高さ1673mm ×φ660mm	高さ1715mm ×φ720mm	高さ1825mm ×φ720mm	高さ1715mm ×φ720mm	高さ1995mm×φ720mm		
質量	本体	約44kg			約49kg		約55kg		約59kg	
	満水時	約344kg	約419kg			約515kg		約609kg		
安全装置	漏電遮断器・温度過昇防止器・アース端子									
温度検知	サーミスター									
発熱体	シーズヒーター									
操作部	操作	湯温設定スイッチ(自動節約・低・高) 漏電遮断器(電源レバー・テストボタン)								
	表示	沸き上げ中ランプ								

別売リモコン(RMC-4)について

この製品は別売のリモコン(RMC-4)を接続すると次の操作ができます。

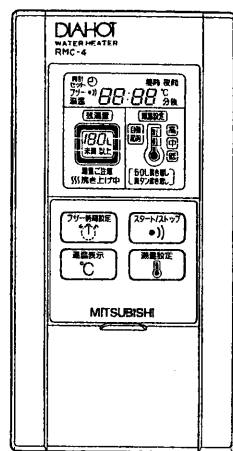
- 湯温設定を「高」(約90℃)、「中」(約75℃)、「低」(約55℃)の3段階と「自動節約」(約60℃～約90℃)に切り換えられます。
- タンク内の湯温や残湯量を確認できます。
- 設定時間の経過をブザーで知らせることができますのでお湯張り時に便利です。

さらに電力契約を「時間帯別電灯」にすれば昼間の沸き増しができます。

- お湯がたくさん必要なときは「満タン沸き増し」を設定すると、その日は昼間に連続して沸き増しを行います。

お知らせ ○「満タン沸き増し」を設定すると昼間時間帯に通電され料金が割高になりますので必要に応じて使用してください。
○リモコンを取り付けるときは別売のリモコンケーブルと取り付け工事費が必要です。

※時間帯別料金制度の詳細については、お近くの電力会社にお問い合わせください。



大きさ 幅96×奥行23×高さ198(mm)
価 格 20,000円(税別)

保証とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店(販売店)名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

保証期間

- お買上げの日から2年間です。(ただし、タンクは5年です。)

	お買上げ日	2年	5年
本体	無料	→	有料
タンク	無料	→	有料

補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年です。この期間は(財)ベターリビングの指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理サービス

- 製品の具合が悪いときは16ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。
- それでも具合が悪いときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品名	電気温水器
形名	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店がお近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

愛情点検

★長年ご使用の電気温水器の点検を

●電気温水器の補修用性能保証の最低保有期間は、製造打切り後10年です。



ご使用の弊
このようなことは
ありませんか

- ・設置場所が濡れている。
- ・お湯の出が悪い。
- ・お湯が早くなる。
- ・時々漏電遮断器がはたらく。
- ・その他の異常、故障がある。



お願い

故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

形 名	
ご購入(据付け)年月日	年 月 日
据付け工事店(販売店)名	TEL

お客さまへ……おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名(販売店)を記入されると便利です。